



# 2021 会 告 No.3

◇通知・案内事項

- 化学工学会第86年会 概要……………本号3ページ
- International Chemical Engineering Symposia 2021 (ICChES 2021)概要……………本号7ページ
- 令和3年度化学工学会賞候補者の推薦について……………本号8ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2021)
◇年会	3/20～22(オンライン)
◇秋季大会	9/22～24(岡山大学)
◇支部大会	
◇学生発表会(東地区)	
◇学生発表会(西地区)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
<b>3月 March</b>			
6	第23回化学工学会学生発表会(オンライン)		2号6
8	第17回キンカ高分子化学研修コース(オンライン)		1号8
11～12	集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会(オンライン)		1号5
15	第11回ファインバブル技術講習会「混相流分野におけるファインバブル研究の進展」(オンライン)		本号9
19	第20回反好会(反応工学部会若手会)講演会(オンライン)	3月12日(金)	本号9
20～22	化学工学会第86年会(オンライン)		本号3
29～31	第22回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)	3月10日(水)	2号7
<b>5月 May</b>			
18	第1回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「触媒化学者・技術者のための実践基礎講習」(オンライン)		本号9
<b>7月 July</b>			
3	第58回化学関連支部合同九州大会(福岡県)	4月9日(金)	本号10
<b>9月 September</b>			
22～24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月20～22日	International Chemical Engineering Symposia 2021 (ICChES 2021) (オンライン)		本号7
7月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021 (PSE 2021) (京都府)		6号8
9月12～17日	24th International Conference on Chemical Reactor (CHEMEREACTOR-24) (Milan, Italy)		
12月5～8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年6月19～23日 (日～木)	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
セミナー「熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用」(東京都)	3月2日(火)	日本冷凍空調学会 デシカント・吸着・ 吸収・化学系技術 委員会	03-5623-3223 (03-5623-3229)
第2回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム (オンライン)	3月4日(木)	日本工学会	03-6265-0672 eng@jfes.or.jp <a href="http://www.jfes.or.jp/">http://www.jfes.or.jp/</a>
20-1 高分子と水・分離に関する研究会, 2020年度界面動 電現象研究会(茨城県)	3月5日(金)	高分子学会, 高 分子と水・分離に 関する研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) <a href="https://member.spsj.or.jp/event/">https://member.spsj.or.jp/event/</a>
第13回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム(ISPlasma2021)／ 第14回プラズマナノ科学技術国際会議 (IC-PLANTS2021)(オンライン)	3月7～11日 (日～木)	応用物理学会	052-581-3241 isplasma2021@intergroup.co.jp <a href="http://www.isplasma.jp/">http://www.isplasma.jp/</a>
No.21-10 講演会 「生産システム部門研究発表講演会2021」(オンライン)	3月8～9日 (月～火)	日本機械学会	03-5360-3505 hashiguchi@jsme.or.jp <a href="http://jsme.or.jp/msd/">http://jsme.or.jp/msd/</a>
第14回日本化学連合シンポジウム(東京都・オンライン 併用)	3月9日(火)	日本化学連合	secretariat@jucst.org <a href="http://www.jucst.org">http://www.jucst.org</a>
No.21-16 講習会「機械学習×熱・流体工学の最先端」 (オンライン)	3月10日(水)	日本機械学会	t.shinohara@jsme.or.jp
第55回日本水環境学会(オンライン)	3月10～12日 (水～金)	日本水環境学会	<a href="http://www.jswe.or.jp/event/lectures/2020per.html">http://www.jswe.or.jp/event/lectures/ 2020per.html</a>
第33回自律分散システムシンポジウム(オンライン)	3月14～15日 (日～月)	計測自動制御学会 システム・情報部 門	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp <a href="https://sites.google.com/sice-das.org/das33rd/">https://sites.google.com/sice-das.org/ das33rd/</a>
第35回 エレクトロニクス実装学会 春季講演大会 (オンライン)	3月17～19日 (水～金)	エレクトロニクス 実装学会	03-5310-2010 taikai35@jiep.or.jp <a href="https://confit.atlas.jp/guide/event/jiep2021s/top">https://confit.atlas.jp/guide/event/ jiep2021s/top</a>
腐食防食部門委員会 第334回例会 『アルミニウム製熱交換器の腐食と防食技術』 (オンライン)	3月26日(金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp
第38回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究 大会(東京都)	4月13～14日 (火～水)	日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp <a href="http://www.jaca-1963.or.jp/">http://www.jaca-1963.or.jp/</a>
第172回講演会 「次世代自動車(EV, 燃料電池)の新たな兆し～樹脂化と 成形加工技術～(オンライン)	4月20日(火)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp <a href="https://www.jspp.or.jp/">https://www.jspp.or.jp/</a>
第20回「成形加工実践講座シリーズ(材料編)」 ープラスチック材料と成形加工の基礎を学ぼうー (オンライン)	4月21日(水)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) <a href="https://www.jspp.or.jp/">https://www.jspp.or.jp/</a>
第21回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月15～16日 (土～日)	マリンバイオテ クノロジー学会	mbt2020@m2.tuat.ac.jp <a href="http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/">http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/</a>
第58回日本伝熱シンポジウム(オンライン)	5月25～27日 (火～木)	日本伝熱学会	<a href="http://htsj-conf.org/symp2021/index.html">http://htsj-conf.org/symp2021/index. html</a>
第26回計算工学講演会(福岡県)	5月26～28日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) office@jsces.org <a href="https://www.jscs.org/koenkai/26/">https://www.jscs.org/koenkai/26/</a>
第70回粉体技術専門講座～食品粉体に関わる先端技術～ (オンライン)	6月16日(水)	日本粉体工業技術 協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp <a href="https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=senmon1">https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS- Form/form.cgi?Code=senmon1</a>

No.21-14「第31回環境工学総合シンポジウム2021」 (オンライン)	7月8～9日(木～金)	日本機械学会	03-5360-3505 (03-5360-3509) hashiguchi@jsme.or.jp <a href="https://confit.atlas.jp/env21">https://confit.atlas.jp/env21</a>
第58回粉体に関する討論会(北海道)	9月6～8日 (月～水)	第58回粉体に関する討論会	0143-46-5747 (0143-46-5701) syama@mmm.muroran-it.ac.jp <a href="http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/">http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/</a>
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	11月28日～ 12月2日(日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp <a href="http://www.jvss.jp/iss9">http://www.jvss.jp/iss9</a>
International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021)(東京都)	12月6～10日 (月～金)	触媒学会 ファインケミカルズ合成触媒研究会	06-6850-6260 mizugaki@cheng.es.osaka-u.ac.jp
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年7月5～8日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp <a href="http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/">http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/</a>

## 化学工学会第86年会 概要

会 場：オンライン開催。ただし、一部、オンサイトを併用して実施する可能性があります。  
 会 期：2021年3月20日(土)～3月22日(月)  
 懇 親 会：実施しません。  
 参 加 登 録 期 間：第三期(含む当日)2021年3月9日(火)～3月22日(月)12:00  
 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/86a/>  
 ※参加登録は上記Webサイトからのみ受け付けます。

化学工学会第86年会は、3月20日(土)～22日(月)の3日間、オンラインにて開催されます。  
 当日を含む第三期の参加登録を受け付けますので、是非奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。  
 なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議International Chemical Engineering Symposia 2021 (ICHES 2021)へもご参加いただけます。

### 新型コロナウイルス感染症への対応について

現在のところ、遠隔会議システム(Zoom)を用いた「オンライン開催」の予定です。一部の企画においては、オンサイトからの双方向ライブ配信を予定しております。全ての企画は、オンラインで発表・聴講いただけます。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「オンサイトからの双方向ライブ配信」も「オンライン開催」に変更させていただく可能性があります。なお、第86年会は、「化学工学会本部が主催するイベント開催形態に関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。ガイドラインの詳細は、化学工学会Webサイト(<http://www.scej.org/>)をご参照ください。

### 参加登録方法(第三期(含む当日))

大会Webサイトからお申込みください。  
 3月9日(火)～3月22日(月)12:00まで

### 開会式等

日時 3月20日(土)9:00～12:00  
 会場 A会場

- ◇開会宣言
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会表彰等授与式
- ◇学会賞受賞記念講演

### 企画紹介

詳細は、大会Webサイトをご覧ください。

### 学会賞等受賞記念講演

- ◇学会賞  
 A105(3月20日(土)10:40～11:20)  
 【池田亀三郎記念賞】  
 ゼオライト合成法ならびに製造法の革新  
 (東京大学)大久保達也 氏
- A106(3月20日(土)11:20～12:00)  
 【池田亀三郎記念賞】  
 超臨界流体を利用した分離および反応工学に関する研究  
 (名古屋大学)後藤元信 氏

- ◇研究賞  
 K209(3月21日(日)11:40～12:00)  
 【實吉雅郎記念賞】  
 結晶サイズ制御と金属微粒子内包構造によるゼ

オライト系固体触媒の高活性化に関する研究  
 (東京工業大学)多湖輝興 氏  
 K213(3月21日(日)13:00～13:20)  
 【玉置明善記念賞】  
 規則性ナノ空間材料の設計と反応分離への応用  
 (大阪大学)西山憲和 氏

◇研究奨励賞  
 O306(3月22日(月)10:40～11:00)  
 【内藤雅喜記念賞】  
 液相を媒介した協奏的相互作用によるゼオライトの超高耐久化技術の開発

(東京大学)伊與木健太 氏  
 L113(3月20日(土)13:00～13:20)  
 【實吉雅郎記念賞】

超臨界流体含浸プロセスの設計へ向けた金属前駆体のバルク及びナノ空間物性に関する研究  
 (広島大学)宇敷育男 氏  
 N313(3月22日(月)13:00～13:20)  
 【玉置明善記念賞】

二酸化炭素資源化技術への非晶質材料の展開  
 (茨城大学)多田昌平 氏  
 M219(3月21日(日)15:00～15:20)  
 【内藤雅喜記念賞】

有用化合物合成のための微生物バイオプロセス構築に関する研究  
 (理化学研究所)野田修平 氏  
 I209(3月21日(日)11:40～12:00)  
 【實吉雅郎記念賞】

界面における粒子動力学シミュレーションモデルの構築  
 (岡山大学)三野泰志 氏

◇技術賞

F211(3月21日(日)12:30～12:50)  
高効率上下動攪拌培養装置“VMFリアクター”の  
用途別開発と製品化

(佐竹化学機械工業(株))加藤好一氏・  
(愛媛大学)加藤英政氏・  
(理化学研究所)植木雅志氏・  
(佐竹化学機械工業(株))金森久幸氏・  
丹生德行氏

F212(3月21日(日)12:50～13:10)

高炉溶銹温度制御ガイダンスの実用化

(JFEスチール(株))橋本佳也氏・  
(JFEテクノリサーチ(株))澤 義孝氏・  
(京都大学)加納 学氏・  
(JFEスチール(株))北村洋平氏・海瀬達哉氏

F213(3月21日(日)13:10～13:30)

超省エネMBR(膜分離活性汚泥法)の開発

(東レ(株))加藤 慧氏・岡本宜記氏・  
花田茂久氏・  
(Toray Membrane USA)北出 有氏・  
(東レ(株))木村特弘氏

◇女性賞

H202(3月21日(日)9:20～9:40)

女性の視点を活かした製造プロセス開発

(東北大学)北川尚美氏

H201(3月21日(日)9:00～9:20)

SDGsを活用した連携の取組～グループ3万人の  
サステナビリティ推進と化学産業としての  
発信～

(住友化学(株))福田加奈子氏

◇アジア国際賞

2019年度

D308(3月22日(月)11:30～12:00)

Rational Synthesis of Materials by Controlling  
Chemical Diffusion and Reaction

(Chinese Academy of Sciences)Yongsheng Han氏

B206(3月21日(日)10:40～11:40)

Clathrate Hydrate, what can Engineers do with it?

(National Univ. Singapore)Praveen Linga氏

C201(3月21日(日)9:00～9:40)

Nanomaterials as High-Capacity Rechargeable  
Battery Electrodes

(National Tsing Hua Univ.)Hsing-Yu Tuan氏

2020年度

C302(3月22日(月)9:20～10:00)

Advancing Metal-Organic Framework Membranes  
for Highly-Efficient Molecular Separations

(National Taiwan University)Dun-Yen Kang氏

B113(3月20日(土)13:00～13:40)

Anion-functionalized Porous Materials for Gas  
Separations

(Zhejiang University)Huabin Xing氏

C313(3月22日(月)13:00～13:40)

Fundamental Understanding of Nanofluidic Transport  
and Its Emerging Applications in Ionic Diode and  
Clean Energy

(National Taiwan University of Science  
and Technology)Li-Hsien Yeh氏

B306(3月22日(月)10:40～11:20)

Micro-Solid Bubble Assembly as Ultra-Lightweight  
High Performance Foam Materials

(Sungkyunkwan University)Pil Jin Yoo氏

第7回 化学工学ビジョンシンポジウム  
「2050年 脱炭素社会への道」  
(一般公開企画, 一部は国際シンポジウム)

日時 3月20日(土)13:00～18:00, 21日(日)9:00  
～17:30

会場 A会場

会告 4

主催 (公社)化学工学会 戦略企画会議, 戦略推  
進センター・次世代エネルギー社会検討  
委員会/CCUS研究会/社会実装研究会  
協賛 (株)IHI, 住友化学(株)

温暖化ガスの排出量を2050年までに実質ゼロ  
を目指して, 世界中で, 技術, 政策, 地域連携  
など多角的な取り組みが加速されます。化学工  
学会では, 2020年度の重点施策として, 「社会課  
題解決に向けての政策提言と社会実装」を掲げて  
参りました。そこで, 本シンポジウムでは, エ  
ネルギー・環境イノベーションとその社会実装  
について, 議論いたします。産学官の連携, 学  
際融合から化学工学が挑むゼロエミッションに  
ついて, 多様な視点で議論しようではありませんか。なお, 本シンポジウムは, 一般公開シン  
ポジウムと位置付け, 学会員を問わず無料でご  
参加いただけます。また, 一部のセッションは,  
国際シンポジウムとして開催いたします。

国際シンポジウム

◇Action Plan 2050 Toward a Carbon-free  
Society Based on Chemical Engineering

Date/Time Mar. 20 13:00～18:00

Room Hall A

Sponsor The Society of Chemical Engineers,  
Japan(SCEJ)

Strategic Board

The Committee on Future Energy and Social

Systems/The Working Group on CCUS/The  
Working Group on Social Implement

Engineering, Center for Strategic Planning

Cooperation IHI Corporation, Sumitomo  
Chemical Co., Ltd.

Specialized, interdisciplinary or comprehensive  
approach in technology, policy, and regional  
cooperation is accelerated around the world to  
eliminate carbon dioxide emissions by 2050. The  
Society of Chemical Engineers of Japan has set  
“Policy Recommendations and Social Implementa-  
tion for Solving Social Issues” as a priority policy for  
fiscal year 2020. In this symposium, we will discuss  
energy and environmental innovation and their social  
implementation. Why don't you discuss from various  
perspectives the chemical engineering challenge of  
zero emissions through industry-academia-  
government collaboration and interdisciplinary  
studies? This symposium is open to the public and is  
free of charge to all participants. Some of the sessions  
will be held as an international symposium.

◇Recent Researches on Gas Hydrates and  
Supercritical Fluids for Building a Sustain-  
able Society

Date/Time Mar. 21 8:55～17:10

Room Hall B

Organization Division of Physical Properties,  
Division of Supercritical Fluids

The international symposium on gas hydrates and  
supercritical fluids will be held. We invite Prof.  
Praveen Linga from National University of Singapore  
(2019 Winner of The SCEJ Award for Outstanding  
Asian Researcher and Engineer) and some outstand-  
ing researchers. We would like to inform you from  
various research fields and deepen discussion on the  
physical properties and applications of gas hydrates  
and supercritical fluids for building a sustainable  
society.

◇Recent Progress in Energy Conversion and  
Storage – Nanomaterials Synthesis –

Date/Time Mar. 21 9:00～12:00

Room Hall C

Organization Division of Materials and Interfaces

The focus of this international symposium is on  
nanomaterials syntheses and energy-related  
applications. We invite Prof. Hsing-Yu Tuan, National  
Tsing Hua University, the winner of “The SCEJ Award  
for Outstanding Asian Research Award Winner  
2019”, and discuss recent progress on nanomaterials  
for secondary batteries, fuel cells, hydrogen produc-  
tion, solar cells, carbon dioxide capture, and other  
energy conversion/storage technologies.

◇Recent Development of Advanced Materials  
for Separation Technology

Date/Time Mar. 20 13:00～16:30

Room Hall B

Organization Division of Separation Processes

The international symposium focuses on  
development of advanced materials for separation  
technology in recent years. We invite Prof. Huabin  
Xing from Zhejiang University of China (2020  
Winner of The SCEJ Award for Outstanding Asian  
Researcher and Engineer) and some outstanding  
researchers. Innovative separation technologies using  
advanced materials such as metal organic frameworks  
(MOF) and ionic liquids will be introduced in the  
symposium.

◇The Leading Edge Technology of Material  
Structure Control for Functional Expression

Date/Time Mar. 22 9:00～15:00

Room Hall B

Organization Division of Materials and Interfaces

Support The Adhesion Society of Japan

The Society of Powder Technology, Japan

Division of Colloid and Surface Chemistry, The  
Chemical Society of Japan

The Japan Society on Adsorption

The Society of Polymer Science, Japan

The Surface Finishing Society of Japan

The Electrochemical Society of Japan

We will hold an international symposium on the  
synthesis of structurally controlled 3D materials and  
their applications. We invite Prof. Pil Jin Yoo of  
Sungkyunkwan Univ. Korea who has won 2020 The  
SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and  
Engineer for the keynote speech of this symposium.  
We also invite domestic and foreign researchers  
working on the synthesis of organic polymer and  
organic-inorganic-highly hybrid materials to discuss about  
the synthesis of structural control materials such as  
thin films, particles, zeolites, MOF, and the latest  
research trends in their application to energy devices,  
electronics, optical materials and so on.

◇Recent Progress in Design of Advanced  
Materials for Membrane Science and  
Technology

Date/Time Mar. 22 9:20～15:20

Room Hall C

Organization Division of Separation Processes

This is an international symposium for design of  
advanced materials for membrane science and  
technology. Prof. Dun-Yen Kang and Prof. Li-Hsien  
Yeh, who have been awarded “The SCEJ Award for  
Outstanding Asian Researcher and Engineer 2020”,  
are invited to give a plenary lecture. Spirited and  
energetic researchers working on design of advanced  
materials for membrane science and technology are  
also invited to discuss widely fundamentals and  
applications of membrane science and technology.  
We hope this symposium will be fruitful and  
contribute to discuss the recent progress in design of  
advanced materials for membrane science and  
technology.

化学工学



化学産業技術フォーラム

◇高経年化した化学装置の余寿命の評価およびその延長

日時 3月22日(月)8:55～12:20  
会場 E会場

日本の化学プラントは新設されることは稀となり、如何にその寿命を延長しながらも安全に操業していくか、が鍵となっています。化学装置材料部会で議論してきた高温・高圧で用いられる金属材料のクリープ余寿命評価や、有機材料の寿命評価や有機材料での補修による寿命延長といった話題を中心に、損傷の事例やコストといった操業現場の実態を交えながら、化学装置の高経年化における問題とその寿命延長に関するシンポジウムを行います。

◇中・小型バイナリー発電システムの開発動向と国際標準化

日時 3月22日(月)13:00～16:00  
会場 E会場

本セッションでは、バイナリー発電システムの研究・技術開発に関する最新のトレンドおよび我が国が中心となって活動しているバイナリー発電技術の国際標準化(IEC・PC126)について紹介します。この中で、今後のバイナリー発電技術開発の方向性、国際標準化を考慮した戦略についての議論を行い、当該技術によるSDGsへの貢献と競争力強化を目指します。

産業セッション

日時 3月21日(日), 22日(月)

◆口頭セッション

◇日本の産業を支える技術イノベーション

日時 3月21日(日)9:00～12:00  
会場 F会場

化学産業界は、人々の「健康、安心、幸福」の推進と改善を目指す必要があり、「Efficiency」から「Sufficiency」への変革が求められています。世界的にもSDGsやESG経営に注目が集まる中、今回は「Life Cycle Assessment」、「再生可能エネルギー」、「AI、DXの導入」を念頭にテーマを選定し、最新技術を紹介いたします。

◇ファインケミカルから医薬品へ進展する「フロー連続生産」

日時 3月21日(日)13:30～17:10  
会場 F会場

革新的生産プロセスの一つであるフロー合成は、バッチ生産に代わる連続生産プロセスとして基礎化学分野だけでなく様々な業界で注目されている。医薬品分野でも、FDA(米国食品医薬品局)が連続生産を推奨し、連続フロー式製造プロセスの研究開発が急加速しています。フロー合成及び、マイクロリアクターの現状・将来展望と共に、関連する化学会社・装置会社での開発・実用化事例や医薬品業界への展開事例を紹介いたします。

◇「化学関連産業の経営課題」ポストコロナの化学関連産業とSDGs(一般公開企画)

日時 3月21日(日)13:00～17:30  
会場 G会場

今回の新型コロナ禍は、私たちの社会や生活を一変させました。企業も、顧客、社員、そして社会との関係性が大きく変わりつつあり、コロナ禍は変革への「最後の機会」とも言われています。また「コロナ禍の本質はSDGsである」という声も多くあります。経営システム研究委員会では、昨年度「SDGsとサーキュラーエコノミー」

をテーマにシンポジウムを企画しましたが、残念ながら議論する場を設けることができませんでした。従って、今年度のシンポジウムでは、昨年度の「SDGsとサーキュラーエコノミー」も踏まえて、ポストコロナの我が国の社会・経済の展望、その中で化学関連産業の将来を議論したいと考えます。

◇脱化石資源に向けたプラスチックサプライチェーンへの挑戦

日時 3月22日(月)9:00～12:00  
会場 F会場

廃プラスチックによる環境汚染問題の解決と、化学産業におけるCO<sub>2</sub>削減および脱化石資源化の進展には、高度循環型社会の実現と代替資源の活用が必須です。本セッションでは、難リサイクル性プラスチックのケミカルリサイクルによる再原料化、バイオプラスチックなど植物資源原料の利用、排出CO<sub>2</sub>の再資源化へ向けた戦略的な取り組みを紹介し、2050年に向けたプラスチックサプライチェーンへの道筋を考えます。

◇未来に向けたインフォマティクス、AI技術の活用と地道な現場力向上への取り組み

日時 3月22日(月)9:55～15:40  
会場 G会場

産業界では未来に向けてインフォマティクス、AI技術、IoT、ビッグデータを活用する取り組みが始まっており、生産現場では、人材不足と人材の質をいかに高めていくかが課題となっています。一方、「ものづくり現場」では、自動化や少人数化設備の導入が進んでいるものの、人に頼らざるを得ない現場もあり、ITの活用が課題となっています。本セッションでは、AI、IoT、ビッグデータを未来の現場力に如何に活用するかの視点に立って、先進企業の事例を紹介します。

◇忘れてはいけない単位操作—(プロセス強化を支援する攪拌混合技術)—

日時 3月22日(月)13:00～15:40  
会場 F会場

化学工場のプロセスは、基本的な単位操作の組み合わせです。しかし、現実のプロセスでは教科書に載っている単位操作概論では対応できない事象が数多くあります。そのような中で、各社の対応例や最新技術を紹介していただきます。今回のテーマは多くの基本的な単位操作が含まれる「プロセス強化を支援する攪拌混合技術」です。

◆ポスターセッション

◇未来に向けたインフォマティクス、AI技術の活用と地道な現場力向上への取り組み

◇忘れてはいけない単位操作—(プロセス強化を支援する攪拌混合技術)—

日時 3月22日(月)16:00～17:30  
会場 Q会場

戦略推進センター SDGs検討委員会企画  
「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行—多様な分野の協働で実現するサーキュラーエコノミー—」  
(一般公開企画)

日時 3月22日(月)13:00～16:00  
会場 A会場  
協賛 (一社)日本化学工業協会、(公社)新化学技術推進協会  
後援 国際連合工業開発機関(UNIDO)

化学工学会は、『国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—』と題する札幌宣言を2019年9月に発表しました。その目的の1つは、多様な学術コミュニティ・民間セクターおよび行政と、化学工学者が協働することによって、人々の「健康、安心、幸福」の促進を目指すことです。SDGs目標12「持続可能な消費と生産パターンの確保」の2番目のターゲットには、天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成することが挙げられています。本シンポジウムでは、このサーキュラーエコノミーに関わる多様な関係者を引き、化学工学者との協働の道を議論します。

男女共同参画委員会企画  
「女性技術者フォーラム」  
(一般公開企画)

日時 3月21日(日)8:50～12:00  
会場 H会場

化学工学に関連する優れた技術や研究の業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行うと共に、女性研究者・技術者である招待・依頼講演者から優れたR&D事例を紹介いただきます。女性の技術者、研究者、学生の皆さんのロールモデルの参考にさせていただき、研究意欲の高揚を目指します。

戦略推進センター AI・IoT委員会企画  
「化学プラントにおけるAI・IoT活用」

日時 3月20日(土)13:20～17:20  
会場 H会場

AI・IoTの急速な進展に伴い、プロセス産業においても具体的な活用が進んでいます。しかし、何をどのように実現すれば良いのかなど明確ではなく、各社とも模索しながら進めているのが現状です。そのような状況を受けて化学工学会では2018年にAI・IoT委員会を立ち上げ、化学産業におけるAI・IoTの活用や技術開発の方向性などを議論してきました。本シンポジウムでは、化学プラントにおけるAI・IoT活用の現状と課題や解決方法について最新の情報を発信します。

全国若手の会・関東支部若手の会  
(ChEC-East)企画  
「若手研究者が考える  
未来の化学工学研究」

日時 3月22日(月)13:00～17:00  
会場 H会場

化学工学を取り巻く環境は、様々な観点から大きく変化しつつあります。それは産業・学術的なことのみならず、研究者と学会との関わり方ということをも含むかもしれません。手法の学問である化学工学が貢献できる対象分野は益々広がると考えて間違い無いと思いますが、化学工学に新しい考え方をフィードバックすることも忘れるべきではありません。様々な分野における先進的な学術アプローチを横断的に俯瞰し、未来の化学工学研究を更なる高みへと発展させる糸口を掴めないでしょうか。本シンポジウムでは全国で活躍する若手化学工学技術者・研究者が参集し、発表者・聴講者間での双方向の意見交換を通じて未来のホットトピックスを探ります。さらに、将来に向けた人脈づくりの場を提供します。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」

日時 3月20日(土)13:00～16:00

会場 I会場

粒子・流体プロセス部会のセッションとして、特別講演ならびに部会賞受賞記念講演を行います。

参加登録方法

◇参加登録期間 第一期, 第二期, 第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期, 第二期は2月20日で終了しております。第三期(含む当日)は3月9日～3月22日(月)12:00までWebにてお申込みいただけます。第二期および第三期では当日参加料金と同額になります。

なお, 第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子や講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。

第一期, 第二期, 第三期を跨いだお申込み, お支払はできませんので, ご注意ください。(例: 第一期や第二期で大会参加のみ登録, 第三期で講演要旨集を追加登録, はできません。また, 第一期や第二期でお申込みいただいたもの, 支払期限日までにお支払いいただけなかった場合, そのお申込みはキャンセルとなります。第三期に改めてお申込み, お支払いください。)

◇事前参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は, 事前参加登録に先立ち, 本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該Webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので, 予めご準備ください。事前参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は, 個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いいただいてからWeb上で確認できるまで二週間程度かかりますので, 未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは, 化学工学会本部 (<http://www.scej.org/>) にお願いたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員, 招待者, 共催学会の個人会員, 対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は, 本会2021年度(2021年3月～2022年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金できません。予めご了解ください。

参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名を除く)の変更は, 随時Webサイトより実施していただけます。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は参加登録時にお申し込みいただければ, 無料で郵送いたします。ただし, 第三期に参加登録をされた方には, 発送は大会終了後になります。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格: 3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので, ご注意

ください。参加登録時にお申込みいただければ, 郵送いたします。ただし, 第三期に参加登録をされた方には, 発送は大会終了後になります。

なお, 講演要旨集のディスクイメージファイルは, 講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん, 大会終了から3か月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は, 本会会員は12,100円/個(税込・送料込), 本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会Webより承りますが, 現物の発送は大会終了後

になります。

◇一般公開企画の参加申込について

本大会では一部の企画を一般公開します。学会員であるかにかかわらず, 無料にて聴講いただけます。

ただし, 他の企画には一切参加(発表, 聴講)できません。

申込みが必要ですので, 詳細は大会Webサイトをご覧ください。

◇その他詳細について

大会Webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には講演プログラム集冊子(希望者にお届けします)が含まれていますが, 講演要旨集(USBメモリ)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	第三期(含む当日)	備考	
化学工学会個人会員の方			
正会員	12,000円	不課税	
シニア会員	8,000円		
永年会員	7,000円		
教育会員	7,000円		
学生会員	7,000円		
海外正会員	12,000円		
海外連携会員	12,000円		
海外学生会員	7,000円	不課税	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等			
法人会員(*1)に属する社員	15,000円		
懇話会会員	15,000円		
部会個人賛助会員	15,000円		
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円		
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員			
他学会の個人会員の方等			
共催学会の個人会員	15,000円	課税税込	
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円		
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円		
(*2) AICHe: 米国化学工学会, CIESC: 中国化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe: 韓国化学工学会, TwiChE: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)			
上記以外の方			
会員外	30,000円	課税税込	

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

問合せ先

E-mail: [scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp](mailto:scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp)  
営業時間 平日10時～17時

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ

京王観光(株)東京中央支店  
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階  
(担当者: 土橋(どばし), イム, 國分(こくぶん))  
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740

◇その他に関するお問合せ

化学工学会 第86年会 実行委員会  
E-mail: [inquiry-86a@www3.scej.org](mailto:inquiry-86a@www3.scej.org)

---

## International Chemical Engineering Symposia 2021 (IChES 2021) 概要

会 場：オンライン開催  
会 期：2021年3月20日(土)～3月22日(月)  
共 催：Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE)  
大会WebサイトURL：<https://miraikagaku.xii.jp/iches2021/>

International Chemical Engineering Symposia 2021では、第86年会の一部でもある国際シンポジウムの6つのセッションを3月20日(土)から22日(月)に、IChES 2021一般研究発表を3月22日(月)9:40～14:20に行います。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で開催される第86年会へもご参加いただけます。

また、海外在住かつIChES 2021(国際シンポジウム、IChES一般研究発表)のみを聴講のみされ

る方については無料で参加いただけます。申込みが必要ですので、詳細は、大会Webサイトをご覧ください。

## 令和3年度化学工学会賞候補者の推薦について

推薦締切 学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・女性賞・フェロー表彰：令和3年5月15日  
功労賞：令和3年8月31日

令和3年度化学工学会賞（学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・功労賞・女性賞・フェロー表彰）の受賞候補者を会員各位より、下記募集要項をご留意の上ご推薦いただきたく存じます。

（アジア国際賞は、推薦締切が2月15日となり、webサイトにて推薦ご依頼申し上げます。）

なお、推薦方法の詳細及び推薦書はWebサイト（<http://www.scej.org/award/apply.html>）をご参照ください。

## 募集要領

## 1. 対象となる業績と候補者の資格

## A. 学会賞

本会正会員であって、化学工学に関する優れた研究を行い、学術上特に大局的に顕著な業績のあった個人。（ただし、過去に研究賞を受賞した者は受賞してから満5年を経過しないと推薦を受けることはできない。）

## B. 研究賞

本会正会員が行った化学工学に関する新規性に富む優れた研究、もしくは特に完成度の高い優れた研究で、学術論文誌に発表されたもの。ただし、本会誌掲載論文があることが必要。受賞者は個人もしくは3名以内の共同研究者。

## C. 研究奨励賞

推薦締切時において満35歳未満の本会正会員であって、化学工学に関する優れた独創性・萌芽的研究を学術論文誌（本会誌に限らない）またはproceedingsに発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

## D. 技術賞

本会正会員あるいは本会維持会員または特別会員である法人に所属する技術者であって、化学工学に関する技術または化学関連産業の技術に関して特に業績のあった個人もしくは5名以内の共同研究・開発者。

## E. 技術奨励賞

推薦締切時において満38歳以下の本会正会員であって、化学工学または関連産業に関わる主として技術上の優れた業績をあげ、学術論文誌、特許、技報などで対外に発表した個人、または本会の年会・秋季大会・支部大会等で発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

## F. 功労賞

## ①教育功労賞

本会正会員に限らず、化学工学およびそれに関連する基礎教育に従事し、教育上顕著な業績または功績のあった個人。本賞は、高校、工業高校、高専、および大学関係者等個人を対象とするが同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

## ②研究功労賞

本会正会員に限らず、化学工業技術に関連する業務に当たり、装置、器具の開発・改良、特殊技能およびデータの取得・整理などを通

して、研究支援に貢献のあった個人。本賞は、高専、大学、および企業関係者等個人を対象とするが、同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

## ③学会活動功労賞

本会正会員、または本部、支部の職員（元職員、嘱託に準ずる者を含む）であって、支部、地区懇話会、あるいは本部の諸委員会での活動、会員増強などの学会活動を通じて、本会の発展に貢献のあった個人。

## ④国際功労賞

本会正会員に限らず、化学工学関係の国際会議等の運営及び海外関連学協会との交流・運営に貢献を行った個人。

## G. 女性賞

化学工学または化学関連産業に関わる技術上の優れた業績をあげた、あるいは化学工学に関する優れた研究を行い、かつ男女共同参画推進のための制度や環境の整備に貢献した個人。

## H. フェロー表彰

推薦時に化学工学に20年間以上関わっている正会員である者、あるいは10年以上本会に在籍する正会員（学生会員期間は除く）、および会長が推薦する正会員個人で、化学工学ならびに本会の発展に貢献し、今後も寄与する個人。

## 2. 表彰の件数

A. 学会賞	2件以内
B. 研究賞	3件以内
C. 研究奨励賞	5件以内
D. 技術賞	5件以内
E. 技術奨励賞	5件以内
F. 教育・研究・学会活動・国際功労賞	各2件以内
G. 女性賞	2件以内

## 3. 表彰の内容

A. 学会賞	賞状及び池田賞
B. 研究賞	賞状とメダル
C. 研究奨励賞	賞状とメダル
D. 技術賞	個人に賞状とメダル、代表者の属する法人に記念牌
E. 技術奨励賞	賞状とメダル
F. 功労賞	賞状と記念品
G. 女性賞	賞状と記念品

H. フェロー表彰 化学工学会フェローの称号

4. 表彰は、令和3年開催の本会表彰式において行う。

## 5. 推薦

(1) 学会賞・研究賞・研究奨励賞は、正会員の推薦による。推薦件数は、各賞につき正会員は1名あたり1件とする。技術賞は、維持会員、特別会員、支部長、部会長または地区懇話会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内、懇話会長は1件とする。技術奨励賞は、維持会員、特別会員、支部長または部会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内とする。女性賞は、維持会員、特別会員、正会員の推薦による。推薦件数は、各会員1件とする。フェロー表彰は、会長、維持会員、支部長、部会長、名誉会員または正会員の推薦による。なお、正会員は3名以上の連名による推薦とする。

(2) 本会で定めた推薦方法に従い、本人の了解を得た後、所定の書式による推薦書一式（電子ファイル）をWebサイト（<http://www.scej.org/award/apply.html>）内の推薦要項に従い、本会宛に5月15日までにアップロードして提出してください。

(3) 推薦された候補者は、所定の書式による選考資料一式（電子ファイル）をWebサイト（<http://www.scej.org/award/apply.html>）内の推薦要項に示されている手順に従い、6月30日までにアップロードして提出してください。

(4) 教育功労賞は、支部長または人材育成センター長の推薦とする。研究功労賞は、維持会員または特別会員の代表者、支部長、または部会長の推薦による。学会活動功労賞及び国際功労賞は、支部長、部会長または常置委員会委員長の推薦による。推薦件数は、各賞とも1件とする。

## 6. 問合せ先

公益社団法人 化学工学会  
表彰委員会担当  
TEL：03-3943-3527  
E-mail：soumu@scej.org



## 部 会 C T

### 第20回反好会(反応工学部会若手会) 講演会(オンライン開催)

主催 化学工学会反応工学部会

化学工学会第86年会の前日に反好会講演会をオンライン開催致します。各回、多くの皆様からご好評いただいております。従来通り参加資格を設けませんので、反応工学にご興味をお持ちの全ての方の参加をお待ちしております。オンライン開催ですので、年会でのご発表予定のない方も含め、より多くの方々とご議論できるものと期待しております。学生・社会人、産学官問わず、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2021年3月19日(金)15:00~17:40

開催方法 Zoom ミーティングで開催致します。

(申し込み頂いた方にミーティング参加方法、資料ダウンロード方法を別途ご案内致します。)

プログラム

15:00~15:05 開会挨拶

15:05~15:50 「超音波利用プロセススケールアップに向けた基礎現象解明と数値モデル開発」

東北大学 山本卓也氏

15:50~16:35 「万物創世-「工」学の芽生えは「土」学から成る」

千葉工業大学 矢沢勇樹氏

16:35~16:50 休憩

16:50~17:35 「SiC-CVDにおける第一原理計算を活用した気相・表面素反応モデルの構築と最適反応設計」

東京大学 佐藤 登氏

17:35~17:40 閉会挨拶

注意事項

★本講演会は無料でご参加いただけます。

★すべての発表の録画、録音および配布資料の転載、複写、第三者への提供を一切禁止致します。

★懇親会は中止とさせていただきます。

★反好会HPからも情報をご覧いただけます。

申込締切 3月12日(金)

お申込・お問合せ先

参加をご希望の方は、「反好会HP」よりお申し込みください。

反好会HP: <http://www2.scej.org/cre/wakate/index.html>

反好会代表幹事 百瀬健(東京大学)

E-mail: [momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp)

## 地 域 C T



### 関 西 支 部

#### 第11回ファインバブル技術講習会 「混相流分野におけるファインバブル研究の進展」

主催 日本混相流学会混相流技術リエゾン専門委員会、近畿化学協会

共催 化学工学会関西支部、化学工学会 粒子・流体プロセス部会 気泡・液滴・微粒子分散工学分科会 ほか

日時 2021年3月15日(月)9:50~16:40

開催手段 オンライン配信(Zoom)

プログラム

開会挨拶 (関西大社会安全)細川茂雄氏

1. 基調講演「生理活性作用を示すマイクロバブルの特異的性質」

(鹿児島高専)氷室昭三氏

2. 招待講演「加圧溶解攪拌によるUFB水の生成とその利用」

(久留米工大)高山敦好氏

3. 企業紹介(ビデオ上映など)

IDEC(株)／(有)OKエンジニアリング／(株)サイエンス／(株)富喜製作所／(株)Ligatic／(株)ワイビーエム

4. 企業講演「ウルトラファインバブルを活用した施設清掃への取り組み」

(Ligatic)山近晋也氏

5. 企業講演「ファインバブルのある生活」

(サイエンス)平江真輝氏

6. 招待講演「ファインバブル測定技術の比較-動的光散乱法、レーザー回折散乱法、粒子追跡法」

(慶應大理工)田中俊也氏

7. 企業講演「標準化(ISO・JIS)への取組と加圧式UFB発生装置を利用した各種洗浄への応用」

(ワイビーエム)宇川岳史氏

8. 企業講演「ファインバブルの活用による効果と難しさ」

(富喜製作所)松本琢史氏

9. 招待講演「金属表面への付着汚れに対するマイクロバブル混合液の洗浄効果」

(新潟大工)牛田晃臣氏

閉会挨拶 (慶應大理工)寺坂宏一氏

参加費 主催・共催団体正(個人)会員6,000円、主催・共催団体法人会員8,000円、会員外10,000円、学生会員3,000円(テキスト<電子ファイル>・消費税含む)

定員 70名(定員になり次第締切)

申込方法 第11回ファインバブル技術講習会のホームページ(<https://kinka.or.jp/event/2021/fb11.html>)からお申込みください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います)

[注意事項]

※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。

※参加登録をいただいた方には、5月上旬頃に、参加証、オンライン配信の聴講方法、テキストのダウンロード方法についてE-mailでお知らせします。

※1つのアカウントで、複数名での聴講は禁止します。

※パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。

※講演資料の録画・録音は固く禁止します。

問合せ先 一般社団法人近畿化学協会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: [seminar@kinka.or.jp](mailto:seminar@kinka.or.jp)

#### 第1回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ 「触媒化学者・技術者のための実践基礎講習(オンライン)」

主催 近畿化学協会

共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2021年5月18日(火)13:00~17:00

開催手段 オンライン配信

講師 常木英昭氏(早稲田大理工総合研/元日本触媒)

講習内容

1. 工業触媒の基礎
2. 触媒反応工学の基礎
3. 触媒活性試験と反応速度解析
4. 反応速度解析の実例
5. 触媒有効係数
6. 触媒劣化
7. 触媒プロセス開発実例
8. 反応器設計
9. 実用触媒の製造

申込締切 定員(50名)になり次第締切

参加費 主催・共催団体会員12,000円、大学・官公庁5,000円、学生3,000円、会員外20,000円(テキスト(電子ファイル)・消費税含む)

参加申込方法 第1回ものづくりプロセス基礎講習シリーズのホームページ(<https://kinka.or.jp/event/2021/mono-process1.html>)よりお申込みください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います)

[注意事項]

※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。

※参加登録をいただいた方には5月上旬頃に、参加証、オンライン配信の聴講方法、テキストのダウンロード方法についてE-mailでお知らせします。

※1つのアカウントで、複数名での聴講は禁止します。

※パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。

※講演資料の録画・録音は固く禁止します。

問合せ先 一般社団法人近畿化学協会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科

学技術センター6階  
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685  
E-mail: seminar@kinka.or.jp



## 九州支部

### 第58回化学関連支部合同九州大会

主催・共催 化学工学会九州支部ほか7化学関連支部

日時 2021年7月3日(土)9:00~17:00(予定)  
会場 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野3-9-30)

[交通]JR小倉駅より徒歩5分

発表申込期間 3月1日(月)~4月9日(金)  
予稿原稿締切 5月14日(金)  
発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。  
ほか依頼講演(8件, 各支部推薦)

発表申込方法 大会HP(<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)から、指示に従って、以下の申込必要事項をお送り下さい。お申込み後に、受理通知のメールをお送りします。通知が無い場合は、本合同大会事務局(化学工学会九州支部)([godo20.scej.kshibu@gmail.com](mailto:godo20.scej.kshibu@gmail.com))にお問い合わせ下さい。

申込必要事項 1)発表分野, 2)発表題目, 3)発表者所属機関の略称, 4)発表者氏名(登壇者の前に●印), 5)学生の場合は、研究室名、指導教員の氏名とE-mailアドレスも記入, 6)発表者の所属学協会(申込中を含む、複数可), 7)発表者の学年・職  
なお、発表分野は下記のいずれかをご指定

下さい。

(1)物理化学, (2)分析化学, (3)無機化学, (4)電気化学, (5)有機化学, (6)高分子・繊維化学, (7)生物化学・農芸化学, (8)化学工学  
予稿原稿(約800字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは、大会HP(<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)で公開します。執筆要項に従って作成し、PDFファイルに変換したものを大会HPに記載の方法で投稿して下さい。

注1: 大学院進学などでメールアドレス変更の場合は、大会HPマイメニューより、ご変更下さい。

注2: 例年、多くの修士1年生にご発表いただきますが、申込内容等の不備(連絡先間違いや単著での申込み)が多くあります。指導教員の先生におかれましてはご指導のほど、お願い申し上げます。

参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。発表登録費は、ポスター発表1件につき3,000円(予稿集1冊含む。当日受付にて、お支払い下さい)。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求め下さい(1冊:1,500円)。

授賞式・懇親会 7月3日17:30(予定)北九州国際会議場内にて。

会費 4,000円(当日、懇親会会場にてお支払い下さい)。※ポスター発表受賞者は会費無料となります。

問合せ先 〒819-0395 福岡市西区元岡744九州大学 W4-552

第58回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局(実行委員長: 梶原稔尚(九州大学))

TEL: 092-802-2757

E-mail: [godo20.scej.kshibu@gmail.com](mailto:godo20.scej.kshibu@gmail.com)

なお新型コロナウイルスの感染状況により、

プログラム、懇親会実施有無を変更する場合があります。さらに、オンラインにて開催する場合があります。

#### 依頼講演会[順不同]

依頼講演 高分子学会九州支部推薦  
「低温成形可能な生分解性高分子: 低温流動メカニズムと可能性」

谷口育雄(九州大学)

依頼講演 繊維学会西部支部推薦  
「両親媒性分子からつくる薄膜材料~ボトムアップとトップダウンのアプローチ~」

吉見剛司(大分大学)

依頼講演 日本農芸化学会西日本支部推薦  
「X線結晶構造解析によるタンパク質の糖鎖認識機構解析」

角田佳充(九州大学)

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦  
「酵素反応を基軸としたタンパク質分析に資する蛍光ラベル化技術の開発」

末田慎二(九州工業大学)

依頼講演 電気化学会九州支部推薦  
「アルカリ二次電池正極用水酸化ニッケルの開発」

佐郷文昭(京セラ)

依頼講演 有機合成化学協会九州山口支部推薦  
「特異な構造を有する生物活性天然物の全合成」

石原 淳(長崎大学)

依頼講演 日本化学会九州支部推薦  
「シアノ系金属錯体集積体の構造ひずみに基づく機能開拓」

大谷 亮(九州大学)

依頼講演 化学工学会九州支部推薦  
「バイオインスパイアードカプセル作製法」

武井孝行(鹿児島大学)

## 求人

### ☆新潟工科大学工学部工学科 教員(食品科学)公募☆

募集人員: 准教授、講師又は助教 1人  
専門分野: 食品科学に関連する分野  
応募資格: 上記専門分野で業績がある者、博士の学位を有する者、本学の建学の精神を理解し熱意を持って学生の教育指導にあたることのできる者他、詳細は本学HPを参照  
応募締切: 2021年4月9日(金)必着  
問合せ先: 〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地  
新潟工科大学工学部 教授 古口日出男  
TEL: 0257-22-8111(代表) FAX: 0257-22-8112(代表)  
E-mail: [hkoguchi@niit.ac.jp](mailto:hkoguchi@niit.ac.jp)  
Web: <https://www.niit.ac.jp/recruit/>